

## 日本組織適合性学会 会告

### 1. 新役員選挙結果について

日本組織適合性学会会則第11条、第12条に基づいて行われた役員選挙の結果、理事9名、監事2名が選出されました。また、会長が森島泰雄評議員を指名理事として推薦し、理事会において承認されました。なお、任期は平成18年9月25日から2年です。

### 2. 新役員人事について

平成18年9月に開催された理事会において、以下の新役員人事案が決議され、評議員会、並びに総会において承認されました。

#### 理 事

氏 名	担 当
木村 彰方	会長, 学術奨励, 事務局
赤座 達也	会計, 会則, 標準化
猪子 英俊	渉外, 将来構想
佐治 博夫	標準化
佐田 正晴	認定制度
高原 史郎	編集
西村 泰治	教育
徳永 勝士	倫理
前田 平生	選挙
森島 泰雄 (指名理事)	渉外

#### 監 事

氏 名	担 当
笹月 健彦	監事
十字 猛夫	監事

## 第 16 回 日本組織適合性学会大会のご案内

第 16 回 日本組織適合性学会大会  
大会長 赤座 達也

早春の候、皆様には益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

第 16 回日本組織適合性学会大会を下記の要領で開催致します。今大会は、「MHC と抗体の新時代—臨床への展開」をテーマとしますので、会員の皆様の多数のご参加をお待ち致しております。

会 期： 2007 年 9 月 9 日(日)～9 月 11 日(火)

会 場： ぱるるプラザ京都

京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町 676 番 13 (京都駅北口東横)

TEL: 075-352-7444

### 大会内容(いずれも予定)

1. Terasaki シンポジウム 「エピトープによる抗体特異性解析の基礎と臨床応用」(仮題)
  - 1) 基調講演 P. I. Terasaki
  - 2) 報 告 基礎的検討・妊娠・輸血・移植における抗体のエピトープレベルの解析の試み
2. シンポジウム: 「移植における組織適合性モニタリング」(仮題)
3. ワークショップ: 「ようこそ組適塾へ!」: 移植医療の症例について、主治医からの質問を、会場の臨床医・研究者・検査担当者がクイックレスポンスで回答し集計した結果を表示します。それを司会者とコメンテーターが解説し、参加者と共に討論する新しい方式のワークショップを目指します。
4. 特別・教育講演: 2 題を予定
5. 一般演題・学術奨励賞発表
6. QC ワークショップ, 認定技術者講習会
7. ランチョンセミナー, その他

### 一般演題募集要項

#### 1. 発表形式

発表者は全員ポスターを掲示していただきます。

発表形式(口演またはポスター発表)については、大会事務局にご一任願います。

演者は本学会員であることが必要です。

#### 2. 申し込み方法

##### 1) 抄録の形式

- 抄録は、MicrosoftWord の文書ファイルを用いて、和文、または英文にて作成願います。
- 1) 演題名, 2) 演者, 3) 所属, 4) 本文の順に記載し、発表者には○印を付けてください。
- 本文は 800 字以内とし、目的、方法、結果、考察等に分類して、具体的なデータとともに記載願います。英数字は半角文字を使用し、2 文字で 1 字とします。フォントは MS 明朝に統一願います。(事務局で統一的に変換する場合があります。あらかじめご承知ください)

##### 2) 演題申し込み票ファイルの作成

抄録とは別ファイルにて作成願います。1) 演題名, 2) 演者, 3) 所属と, 4) 代表者の連絡先住所電話番号, FAX, e-mail アドレスを記載してください。

3) 申し込み受け付け

演題受付は, 原則として e-mail により行います。件名は「16JSHI 演題」として, 1) 抄録, 2) 演題申し込みファイルの2つのファイルを, 添付書類にて第16回大会事務局 (16jshi-jimu@hla.or.jp) までお送りください。

3. 演題申し込み締め切り

2007年4月28日(土)必着

4. 演題受領通知および採択通知

演題受付後7日以内に e-mail または FAX にて演題受領の通知を致します。演題発表の形式(口演またはポスター)および日時につきましては, 2007年7月上旬頃迄に e-mail または FAX にて通知を致します。

**参加登録費**

参加費は事前登録を行います。

	理事・評議員	会員・非会員
事前登録(2007年7月31日受付まで)	¥8,000	¥6,000
当日参加(2007年8月1日以降)	¥10,000	¥8,000

事前登録参加費は下記の銀行口座に振り込みをお願いします。入金確認後, 大会事務局より参加証の引き換え券を郵送致します。参加証(領収書兼用)は, 当日学会受け付けにてお渡し致します。なお, お振り込みの際には, お名前を, 複数の場合はその人数分の名前をご記入願います。

(振込先) UFJ 銀行 東松原支店

普通 口座番号 3746449

第16回日本組織適合性学会大会事務局 赤座達也

**懇親会**

2007年9月10日(月) 18:30より懇親会を開催致します。奮ってご参加ください。

**宿泊・交通について**

本大会の宿泊, 交通に関しましては, 各自ご手配願います。京都市内のホテルは混雑が予想されますので, お早めに予約されることをお勧め致します。

**2007年度学術奨励賞の募集**

第16回組織適合性学会大会に応募された一般演題の中から, 特に優秀と認められた演題の筆頭演者に学術奨励賞が授与されます。詳しくは本誌に記載されている「2007年度学術奨励賞の募集のお知らせ」をご参照下さい。

### 大会事務局

本大会に関するお問合せは、下記の大会事務局にお願いいたします。

〒606-8396 京都市左京区川端丸太町下ル下堤町 82

特定非営利活動法人 HLA 研究所

第 16 回日本組織適合性学会大会 事務局

Tel: 075-762-5201 FAX: 075-762-5202 E-Mail: 16jshi-jimu@hla.or.jp

### その他

大会情報は今後の MHC 誌上、および日本組織適合性学会ホームページで随時更新いたします。

## 日本組織適合性学会 2006 年度学術奨励賞選考結果について

学術奨励賞選考委員会

委員長 木村 彰方

### 1. 2006 年度学術奨励賞の公募経緯

若手研究者の研究奨励と研究助成を目的として、2005 年度に日本組織適合性学会学術奨励賞が創設されたが、2006 年度より (1) 基礎研究系(主に基礎医学系の研究。理学, 生物学的な研究を含む), (2) 臨床研究系(臨床関連研究。基礎医学的な疾患研究などを含む), (3) 技術応用系(実務関連研究。実務を通じた発見, 技術応用などを含む)の3分野に分けて募集することとし, 第15回日本組織適合性学会大会に応募された一般演題の中から, 特に優秀と認められた演題の筆頭演者に与えられるものとした。応募資格は, 1) 筆頭演者は本学会の正会員であり, かつ2004年度までの会費を納入済であること, 2) 筆頭演者は2005年9月26日時点で満45才未満であること(ただし, 技術応用系は年齢制限なし), 3) 応募しようとする演題の内容において, 筆頭演者が中心的な役割を果たしていること, 4) 応募しようとする演題の内容が, 本学会にふさわしく, かつ未発表であることとした。

### 2. 選考経緯

学術奨励賞には, 5月末日迄に7件(基礎研究系1件, 臨床研究系3件, 技術応用系3件)の応募があった。一般演題31題と合わせて, MHC編集委員, 編集協力者による5段階評価を実施し, 21名による評価および認定制度委員会よりの推薦を参考にして, 学術奨励賞選考委員会で以下の3名を選考した。いずれの演題とも, 評価点は全演題の上位6分の1に入っていた。

### 3. 選考結果

#### 基礎系

氏名(所属): 平安 恒幸 (東京大学大学院医学系研究科人類遺伝学)

演 題: LILRA3 遺伝子にみる東アジア特異的な自然淘汰

#### 臨床系

氏名(所属): 大谷 仁志 (東京医科歯科大学大学院生命情報科学教育部バイオ情報学)

演 題: 家族性肥大型心筋症 (FHCM) の新しい原因遺伝子座は HLA 領域にマップされる

#### 技術応用系

氏名(所属): 小川 貴裕 (湧永製薬(株)バイオ事業開発部)

演 題: PCR-PHFA 法と Luminex システムを応用した HLA 遺伝子解析技術の開発

### 4. 受賞講演

優秀賞演題は, 第15回日本組織適合性学会大会中の9月26日に, 学術奨励賞受賞者講演として発表された。

## 2007 年度 学術奨励賞募集のお知らせ

学術奨励賞選考委員会  
委員長 木村 彰方

### 会員の皆様

2006 年度に引き続き研究助成を目的とした日本組織適合性学会学術奨励賞の募集を行います。以下の要領で募集しますので、奮って御応募下さい。

### 1. 助成内容

2007 年度学術集会大会に応募された一般演題の中から、特に優秀と認められた演題の筆頭演者に学術奨励賞を授与します。授与件数は若干件で、1 件につき 10 万円程度の助成金授与を予定しております。

### 2. 募集分野

- (1) 基礎研究系（主に基礎医学系の研究。理学，生物学的な研究を含む）
- (2) 臨床研究系（臨床関連研究。基礎医学的な疾患研究などを含む）
- (3) 技術応用系（実務関連研究。実務を通じた発見，技術応用などを含む）

### 3. 応募資格

助成金応募にあたっては、以下の条件のすべてを満たしていることが必要です。

- 1) 筆頭演者は本学会の正会員であり、かつ 2006 年度までの会費を納入済であること
- 2) 応募しようとする演題の内容において、筆頭演者が中心的な役割を果たしたこと
- 3) 応募しようとする演題の内容が、本学会にふさわしく、かつ未発表であること
- 4) 筆頭演者は 2007 年 9 月 11 日時点で満 45 才未満であること。ただし、技術応用系については年齢制限はありません。

### 4. 応募方法

大会の演題抄録募集とは別途の手続きで行いますので、以下の書類を次のアドレス宛にメール添付で送って下さい。(HLA 学会事務局, Email; jshijimu.tis@mri.tmd.ac.jp)

### 必要書類

#### 1) 抄録

一般演題に応募した抄録

(Word 形式で保存し、ファイル名を応募者名抄録.doc {例; 木村彰方抄録.doc} とする。ただし、Word が使えない場合はテキスト形式で保存しファイル名を応募者名抄録.txt とする)

#### 2) 応募ファイル

1 頁目に、演題名，演者(全員)，所属(全員)，応募分野(基礎研究系，臨床研究系，技術応用系のいずれかひとつ)，および応募者(筆頭演者)の連絡先住所，電話番号，FAX，e-mail アドレス，生年月日，年令を記入する。

2 頁目以降に、応募した研究の背景，研究の意義，応募の動機，日本組織適合性学会との関わり(これまでと今後の方針・希望など)を、それぞれ 300-400 字程度でまとめる。

(Word形式で保存し、ファイル名を応募者名申込.doc {例; 木村彰方申込.doc} とする。ただし、Wordが使えない場合はテキスト形式で保存しファイル名を応募者名申込.txt とする)

## 5. 応募締め切り

2007年4月28日(必着)

(5月中旬までに応募ファイル受領を連絡しますが、受領連絡がない場合は、学会事務局までお問い合わせください)

## 6. 選考および結果通知について

応募された演題についてMHC編集委員および編集協力者等が予備審査を行い、その結果を参考にして学術奨励賞選考委員会にて選考を行います。結果は、7月下旬頃までに応募者宛に通知致します。

## 7. 助成金の使途

使途について特に制限はありませんが、学術奨励賞であることの趣旨をご理解の上、適切に使用ください。なお、使途とその内訳を後述の報告書に記載するものとします。

## 8. 受賞者にかかる義務について

- 1) 受賞者は、第16回日本組織適合性学会大会(学術奨励賞受賞講演セッション)において発表を行って頂きます。
- 2) 受賞者は、助成が行われた研究課題についての報告書(様式は別途通知します)を学会宛に提出して頂きます。

## 9. 助成が行われた研究課題の成果発表について

研究課題の研究成果については、原著論文もしくは総説等の形式にて、学会誌MHCへの積極的な発表をお願いします。

## 10. 問い合わせ先

本件に関する問い合わせは学会事務局をお願いします。

日本組織適合性学会事務局

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3-10

東京医科歯科大学難治疾患研究所分子病態分野内

Tel; 03-5280-8054, Fax; 03-528-8055, Email; jshijimu.tis@mri.tmd.ac.jp

## 第 11 回 HLA-QC ワークショップのご案内

日本組織適合性学会  
認定制度委員会  
委員長 佐田正晴  
QC ワークショップ部長 木村彰方

前回は引き続き認定制度委員会主催の QC ワークショップ (QCWS) を開催致しますので、下記の通り案内致します。前回と同様、DNA タイピング QC (DNA-QC) に加えて、抗体検査 QC (抗体 QC) を実施します。なお、参加者には後日送付致します同意誓約書に署名していただきますが、同意誓約書の提出がない場合には QC サンプルを送付出来ませんのでご注意ください。

### 記

1. スケジュール (すべて予定ですので、今後変更があり得ます)  
平成 19 年 4 月中旬 DNA サンプル, 抗体サンプル配布 (原則として, ラボ単位で配布)  
平成 19 年 6 月上旬 データ提出締切り (原則として, 電子媒体による)  
平成 19 年 8 月上旬 解析結果送付 (原則として, ラボ単位で配布)
2. QC ワークショップ集会  
平成 19 年 9 月 9 日 (日) 午後 第 16 回日本組織適合性学会 (京都) にて
3. 参加費 (QC ワークショップ集会のみの参加も同様)  
認定制度との関連で、参加は原則として個人を対象とします。  
QC ワークショップにかかる資料代等の実費として、一名 2,000 円を申し受けます。  
DNA-QC, 抗体 QC のどちらか一方に参加、どちらにも参加、集会のみに参加のいずれも、参加費は同一です。
4. 参加申し込み (QC ワークショップ集会のみ参加する場合も同様に申し込んでください)  
学会ホームページ QC ワークショップ部会の URL (<http://jshi.umin.ac.jp/QCWS/>) より申し込み様式をダウンロードし、必要事項を記入後、メール添付にて QC ワークショップ部会まで送付ください。なお、電子媒体の使用が困難な場合は、別紙用紙に必要事項を記入し、ファックスまたは郵送にてお送りください。参加費の払い込みをもって参加申し込みの完了と致しますので、参加費は以下の口座に振込んでください。原則として、振込の控えをもって領収書とさせていただきます。集会のみの参加の場合も同様です。参加申し込み (参加費払い込み) の期限は、平成 19 年 2 月 24 日 (金)とします。
5. 振込口座  
郵便振替口座 00160-7-482142  
組織適合技術者認定制度委員会  
振替用紙の通信欄に、「第 11 回 QCWS 参加費」および参加者氏名を必ず記載してください。

**第 11 回 HLA-QC ワークショップ参加申込書**  
(QC ワークショップ集会のみ参加する場合も、同様に申し込んでください)

参加申し込み締め切り(参加費払い込みを含む)は平成 19 年 2 月 24 日(金)です。

申込書の送付先

電子メール使用の場合

Email アドレス: jshiqcws.tis@mri.tmd.ac.jp

郵送または Fax の場合

101-0062 千代田区神田駿河台 2-3-10

東京医科歯科大学難治疾患研究所分子病態分野 木村彰方

Fax: 03-5280-8055

\* \* \*

以下の通り、第 11 回 HLA-QC ワークショップに参加致します

1) 参加者

代表*	参加者氏名	参加内容&	所属施設・部署	E メールアドレス#

&; 参加する QCWS 内容の記号 (a; DNA-QC のみ, b; 抗体 QC のみ, c; どちらも, d; 集会のみ)のいずれかを記載してください

\*; 参加者の代表(結果の問い合わせなどに対応される方に◎をつけてください)

#; 問い合わせや案内に用いますので、代表者のみの記入で結構です。

2) サンプル (DNA および抗体)の送付先(実際にサンプルを受取る方の氏名)

QC ワークショップ集会のみの参加の場合は記入不要です

住所(郵便番号): (〒 - )

施設名: \_\_\_\_\_

所属部署: \_\_\_\_\_

氏名: \_\_\_\_\_

E-mail: \_\_\_\_\_, 電話: \_\_\_\_\_

具体的な QCWS 実施方法, 結果記入方法, 結果返送方法の詳細等を今後検討し, 学会ホームページに掲載するとともに, 代表者宛に連絡します。

## 組織適合性検査技術者認定制度 平成 19 年度・認定 HLA 検査技術者講習会のお知らせ

組織適合性検査技術者認定制度委員会

委員長 佐田 正晴

組織適合性検査技術者認定制度委員会教育部会

部会長 西村 泰治

日 時：平成 19 年 9 月 9 日(日曜日) 16～18 時ごろの予定(詳細は次号ならびに学会ホームページにて御案内いたします。)

場 所：パルプラザ京都(京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町, JR 京都駅前)

参加費：2,000 円(テキスト代を含む)

内 容：各講習とも質疑応答を含めて、35 分を予定しています。なお講習のタイトルは、今後、若干変更される可能性があります。

(1) 臓器移植と HLA—組織適合性検査と HLA 抗体—

佐藤 壯 先生 (札幌北楡病院・臨床検査科)

(2) 骨髄バンクにおける HLA 適合の考え方

加藤 和江 先生 (日本赤十字社 中央骨髄データセンター)

(3) 造血幹細胞移植の臨床

日野 雅之 先生 (大阪市立大学大学院医学研究科 血液病態診断学)

この講習会は、今後 HLA 検査技術者認定を取得、あるいは更新しようとする者を対象に実施されますが、それ以外の者であっても自由に参加することができます。受講希望者には、以下の申込書に必要事項を記入し、熊本大学大学院医学薬学研究部・免疫識別学分野宛に FAX (096-373-5314) で平成 19 年 7 月 31 日(月)までに送付してください。あるいは、E メールで件名を「HLA 講習会」とし、申込書の必要事項を書き込んで「midorifu@kaiju.medic.kumamoto-u.ac.jp」宛に、上記締め切り日までに送信してください。テキストは、申込数に応じて作成し、申込者に優先して配布します。そのため当日の申し込み者については、テキストの配布を受けられない場合がありますことを、あらかじめご了承ください。なお参加費は平成 19 年 8 月 31 日(木)までに、指定の郵便振替口座(口座番号：00160-7-482142, 口座名称：組織適合性技術者認定制度委員会)に振込んでください。振替用紙の通信欄に、受講(予定)者の所属、氏名とともに、「平成 19 年度認定 HLA 検査技術者講習会受講料」と記載してください。参加費前納者には、事前に講習会資料を送付させていただきます。なお受講申し込みをされ参加費を振り込まれた方で、当日欠席された方には返金できませんことを御了承ください。

---

### 平成 19 年度・認定 HLA 検査技術者講習会 受講申込書

(書き込み可能な申込書を、学会ホームページからダウンロードできますので、そちらも御利用ください。)

FAX 送信先：096-373-5314, E メール送信先：midorifu@kaiju.medic.kumamoto-u.ac.jp

氏 名：

所 属：

住 所：〒

電 話 番 号：

FAX 番 号：

E メールアドレス：

HLA 検査技術者認定取得予定 なし あり → 平成 年度を予定

## 平成 19 年度 認定 HLA 検査技術者認定試験申請要領

日本組織適合性学会  
 会長 木村 彰方  
 組織適合性技術者認定制度委員会  
 委員長 佐田 正晴

認定 HLA 検査技術者及び認定組織適合性指導者認定制度規則(以下「規則」といいます。)に基づき認定 HLA 検査技術者資格認定試験を下記のように実施します。

平成 20 年度に受験を予定している人は、今年度までに講習会のみを受講しておく必要があります。また、平成 21 年度以降に受験を予定している人も講習会の受講は可能です。なお、講習会の詳細については本誌別頁に記載の「平成 19 年度認定 HLA 検査技術者講習会のお知らせ」をご覧ください。

**1 申請資格:** 認定 HLA 検査技術者の資格認定試験を申請する人は、申請の前年度までに次の各項の認定試験受験資格基準をすべてを備えていなければなりません。

- (1) 日本組織適合性学会(以下「学会」といいます。)の会員歴が通算して 3 年以上あること。
- (2) 組織適合性検査に関する業務経験が 3 年以上あること。
- (3) 5 年間で技術者履修課程に定められた講習の受講歴があること。
- (4) 5 年間で資格審査基準が 30 単位以上あること。但し、当学会の大会への参加が 5 単位以上含まれていなければなりません。

なお、(2)の業務とは、組織適合性に関する検査、研究および教育をいいます。

資格審査基準の詳細については、学会ホームページ <http://jshi.umin.ac.jp/certification/> をご覧ください。

**2 申請書提出期限:** 平成 19 年 4 月 13 日(金)までに到着するよう簡易書留で下記の事務局へ送付してください。

**3 申請書送付先:** 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-10  
 東京医科歯科大学難治疾患研究所分子病態分野内  
 組織適合性技術者認定制度委員会事務局  
 電話 03-5280-8054, ファックス 03-5280-8055

**4 提出書類:** (1) 認定 HLA 検査技術者認定申請書と別記様式第 1 および別記様式第 2 の 1 から 2 の 6  
 (2) 申請料振り込み用紙の写し  
 (3) 80 円切手を貼った返信用封筒(申請者へ送れるように住所・氏名などを記載しておいてください)

必要な申請書類は本誌に綴じ込められています。なお、別記様式第 2 の 5 の貼付用台紙には学会参加証等のコピーおよび講習会修了証を貼り付けてください。資格審査基準証明書(別記様式 2 の 1)の所属長署名・捺印はなくてもかまいません。

資格審査結果については、5月下旬以降にメールで通知する予定です。

申請書類のファイルは、学会のホームページ <http://jshi.umin.ac.jp/certification/> からダウンロードできます。

**5 申請料:** 15,000 円

振込先

郵便振替口座: 00160-7-482142

口座名義: 組織適合性認定制度委員会

郵便振替用紙の通信覧に、「技術者資格認定試験申請料」と記入し、その下に、「申請者名」を書き込んでください。

**6 実技研修会:** 実施日時・場所等は、申請者に希望場所・日時を調査した上で決定し、本人に通知します。

実技研修は、規則第9条2項により、全員が受講しなければなりません(QCWS参加歴の有無によらず、実技研修は必須です)。

実施日時としては、7月中の2ないし3日間(施設によって異なります)を予定しています。なお、開催都市は、東京と京都を予定しています。5月下旬頃、資格審査結果と同時に実施施設と日時についてのアンケートをメールでお送りいたします。

**7 実技・筆記試験:** 実技試験: 平成19年9月9日(日)時間未定

筆記試験: 平成19年9月9日(日)時間未定

会場: ばるるプラザ京都

(京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町 676 番 13)

試験の日時および会場については本人に郵送で8月上旬ごろ通知する予定です。但し、実技試験は規則第9条4項により、QCワークショップの参加歴がある場合、免除されます。

## 平成 19 年度 認定組織適合性指導者資格認定試験申請要領

日本組織適合性学会  
 会長 木村 彰方  
 組織適合性技術者認定制度委員会  
 委員長 佐田 正晴

認定 HLA 検査技術者及び認定組織適合性指導者認定制度規則(以下「規則」といいます。)に基づき認定組織適合性指導者資格認定試験を下記のように実施します。

平成 20 年度に受験を予定している人は、今年度までに講習会のみを受講しておく必要があります。また、平成 21 年度以降に受験を予定している人も講習会の受講は可能です。なお、認定組織適合性指導者講習会は、2009 年 9 月 10, 11 日に開催される第 16 回日本組織適合性学会大会(京都)の講演などの受講をもって代えます。詳細については本誌別頁に記載の「平成 19 年度認定組織適合性指導者講習会のお知らせ」をご覧ください。

**1 申請資格:** 認定組織適合性指導者の資格認定試験を申請する人は、申請の前年度までに次の各項の認定試験受験資格基準をすべてを備えていなければなりません。

- (1) 日本組織適合性学会(以下「学会」といいます。)の会員歴が通算して 7 年以上あること。
- (2) 組織適合性検査に関する業務経験が 7 年以上あること。
- (3) 5 年間で指導者履修課程に定められた講習の受講歴があること。
- (4) 5 年間で資格審査基準が 70 単位以上あること。但し、当学会の大会への参加が 10 単位以上含まれていなければなりません。

なお、(2)の業務とは、組織適合性に関する検査、研究および教育をいいます。

**2 申請書提出期限:** 平成 19 年 4 月 13 日(金)までに到着するよう簡易書留で下記の事務局へ送付すること。

**3 申請書送付先:** 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-10  
 東京医科歯科大学難治疾患研究所分子病態分野内  
 組織適合性技術者認定制度委員会事務局  
 電話 03-5280-8054, ファックス 03-5280-8055

**4 提出書類:** (1) 認定組織適合性指導者認定申請書と別記様式第 4 および別記様式 2 の 1 から 2 の 6  
 (2) 申請料振り込み用紙の写し  
 (3) 80 円切手を貼った返信用封筒(申請者へ送れるように住所・氏名などを記載しておいてください)

必要な申請書類は本誌に綴じ込められています。なお、別記様式第 2 の 5 の貼付用台紙には学会参加証等のコピーおよび講習会修了証を貼り付けてください。資格審査基準証明書(別記様式 2 の 1)の所属長署名・捺印はなくてもかまいません。

資格審査結果については、5 月下旬以降にメールで通知する予定です。

申請書類のファイルは、学会のホームページ <http://jshi.umin.ac.jp/certification/> からダウンロードできます。

**5 申請料:** 30,000 円

振込先

郵便振替口座: 00160-7-482142

口座名義: 組織適合性認定制度委員会

郵便振替用紙の通信覧に、「指導者資格認定試験申請料」と記入し、その下に、「申請者名」を書き込んでください。

**6 試験:** 試験: 平成 19 年 9 月 9 日(日)時間未定

会場: ぱるるプラザ京都

(京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町 676 番 13)

試験内容, 日時, 会場については, 本人に郵送で 8 月上旬ごろ通知する予定です。

## 平成 19 年度 認定組織適合性指導者および認定 HLA 検査技術者認定証更新申請要領

日本組織適合性学会  
 会長 木村 彰方  
 組織適合性技術者認定制度委員会  
 委員長 佐田 正晴

平成 14 年度(2002 年度)に認定を受けられた方は、来年度(平成 19 年度)に更新を迎えられます。下記の更新基準を満たしているかをご確認いただき、必要書類を提出して更新手続きを行ってください。

### 1 申請資格:

#### (認定 HLA 検査技術者)

- (1) 認定証の登録年度から 5 年間に資格審査基準が 30 単位以上あること。但し、当学会の大会への参加が 5 単位以上含まれていなければならない。
- (2) 認定証の有効期間満了前の 2 年間に技術者履修課程に定められた講習を 1 回以上受講していること。
- (3) 認定証の登録年度から 5 年間に学会が主催する QC ワークショップ集会への参加があること。

#### (認定組織適合性指導者)

- (1) 認定証の登録年度から 5 年間に更新資格審査基準が 70 単位以上あること。但し、日本組織適合性学会誌における原著論文、総説、または学会の大会における発表が 15 単位以上含まれていなければならない。また、原則として当学会の大会への参加が 15 単位以上含まれていなければならない。
- (2) 認定証の有効期間満了前の 2 年間に指導者履修課程に定められた講習会を 1 回以上受講していること。
- (3) 認定証の登録年度から 5 年間に学会が主催する QC ワークショップ集会への参加歴があること。更新資格審査基準の詳細については、学会ホームページ <http://jshi.umin.ac.jp/certification/> をご覧ください。

2 申請書提出期限: 平成 19 年 4 月 13 日(金)までに到着するよう簡易書留で下記の事務局へ送付してください。

3 申請書送付先: 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-10  
 東京医科歯科大学難治疾患研究所分子病態分野内  
 組織適合性技術者認定制度委員会事務局  
 電話 03-5280-8054, ファックス 03-5280-8055

4 提出書類: (1) 認定 HLA 検査技術者認定申請書と別記様式第 1 および別記様式第 2 の 1 から 2 の  
 6  
 (2) 申請料振り込み用紙の写し  
 必要な申請書類は本誌に綴じ込められています。なお、別記様式第 2 の 5 の貼付用台紙には学会参加証等のコピーおよび講習会修了証を貼り付けてください。資格審査基準証

明書(別記様式2の1)の所属長署名・捺印はなくてもかまいません。

資格審査結果については、6月上旬以降に郵送で通知する予定です。

申請書類のファイルは、学会のホームページ <http://jshi.umin.ac.jp/certification/> からダウンロードできます。

**5 申請料:** 認定 HLA 検査技術者 15,000 円

認定組織適合性指導者 30,000 円

振込先

郵便振替口座: 00160-7-482142

口座名義: 組織適合性認定制度委員会

郵便振替用紙の通信覧に、「認定 HLA 検査技術者登録更新料」または「認定組織適合性指導者登録更新料」と記入し、その下に、「申請者名」を必ず書き込んでください。

**6 認定証交付:** 認定証の交付は、第 16 回大会の 2 日目(9 月 10 日)に大会事務局にて行います。大会当日に受け取れない方は、120 円切手を貼付した A4 用紙が入る封筒(申請者へ送れるように住所・氏名などを記載しておいてください)を同封してください。

平成19年度認定HLA検査技術者認定試験受験申請書

認定HLA検査技術者認定試験の受験を申請します。

※受験番号

平成 年 月 日申請

フリガナ		性別	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>写真を貼付</p> <p>申請日前6ヵ月以内に撮影されたもので 大きさは4×3cm</p> <p>平成 年 月 日撮影</p> </div>	
受験者氏名	(印)	男・女		
生年月日	( 歳)			
本籍地 (都道府県名)				
フリガナ				
現住所				
電話	( )			
フリガナ				
勤務先名				
フリガナ				
勤務先住所				
電話	( )	ファックス	( )	
電子メール	@			

※受付日

※書類の不備

※受験の出欠

※合否判定

平成19年度認定HLA検査技術者認定試験受験票

※受験番号

フリガナ		性別	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>写真を貼付</p> <p>申請日前6ヵ月以内に撮影されたもので 大きさは4×3cm</p> <p>平成 年 月 日撮影</p> </div>	
受験者氏名		男・女		
生年月日	( 歳)			
本籍地 (都道府県名)				
フリガナ				
現住所				

注 太枠内の必要事項を楷書で記入すること。※欄は記入しないこと。



資格審査基準証明書

申請日：平成 年 月 日

申請者名			
生年月日	昭和 年 月 日		
勤務先			
勤務先住所			
電話番号			
1 日本組織適合性学会会員歴	年 月加入	申請日までの会員歴通算	年
2 QCワークショップ参加歴		申請日までの参加歴通算	年
3 組織適合性関連業務歴 (内訳)		申請日までの業務歴通算	年
4 講習会参加歴	平成 年 月参加		
5 総取得単位数			単位
(内訳)	原 著 論 文	単 位	
	著 書	単 位	
	学 会 発 表	単 位	
	学 会 参 加 会	単 位	
	講 習 会	単 位	
	QCワークショップ集会参加	単 位	
	実 技 研 修 会	単 位	
以上、相違ないことを証明します。			
平成 年 月 日			
申請者名			(印)

切り取り線



単位内訳書 (原著論文・総説)

申請者名

番号	著者名	題名	発表雑誌名	巻	ページ	発行年



単位内訳書 (著者・総説)

申請者名

番号	著者名	題名	本名	出版社名	ページ	発行年







貼 付 用 台 紙

(この用紙に学会参加証及び講習会参加証の写しを貼付してください。)

A large, empty rectangular box with a solid black border, intended for pasting copies of certificates. The box occupies most of the page's vertical space.







平成19年度認定組織適合性指導者認定試験受験申請書

認定組織適合性指導者認定試験の受験を申請します。

※受験番号

平成 年 月 日申請

フリガナ		性別	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>写真を貼付</p> <p>申請日前6ヵ月以内に撮影されたもので 大きさは4×3cm</p> <p>平成 年 月 日撮影</p> </div>
受験者氏名	(印)	男・女	
生年月日	( 歳)		
本籍地 (都道府県名)			
フリガナ			
現住所			
電話	( )		
フリガナ			
勤務先名			
フリガナ			
勤務先住所			
電話	( )	ファックス	( )
電子メール	@		

※受付日

※書類の不備

※受験の出欠

※合否判定

平成19年度認定組織適合性指導者認定試験受験票

※受験番号

フリガナ		性別	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>写真を貼付</p> <p>申請日前6ヵ月以内に撮影されたもので 大きさは4×3cm</p> <p>平成 年 月 日撮影</p> </div>
受験者氏名		男・女	
生年月日	( 歳)		
本籍地 (都道府県名)			
フリガナ			
現住所			

注 太枠内の必要事項を楷書で記入すること。※欄は記入しないこと。



平成19年度認定HLA検査技術者認定更新申請書

認定HLA検査技術者の認定更新を申請いたします。

			平成 年 月 日申請
フリガナ		性別	<p>写真を貼付</p> <p>申請日前6ヵ月以内に撮影されたもので大きさは4×3cm</p> <p>平成 年 月 日撮影</p>
申請者氏名	Ⓜ	男・女	
生年月日	( 歳)		
本籍地 (都道府県名)			
フリガナ			
現住所			
電話	( )		
認定証番号			
発行年月日	平成 年 月 日		
フリガナ			
勤務先名			
フリガナ			
勤務先住所			
電話	( )	ファックス	( )
電子メール	@		

注 太枠内の必要事項を楷書で記入すること。※欄は記入しないこと。

※受付日
------

※書類の不備
--------

※更新認定証番号・発行日
--------------

切り取り線



平成19年度認定組織適合性指導者認定更新申請書

認定組織適合性指導者の認定更新を申請いたします。

平成 年 月 日申請	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>写真を貼付</p> <p>申請日前6ヵ月以内に撮影されたもので 大きさは4×3cm</p> <p>平成 年 月 日撮影</p> </div>	

フリガナ		性別	
申請者氏名	(印)	男・女	
生年月日	( 歳)		
本籍地 (都道府県名)			
フリガナ			
現住所			
電話	( )		
認定証番号			
発行年月日	平成 年 月 日		
フリガナ			
勤務先名			
フリガナ			
勤務先住所			
電話	( )	ファックス	( )
電子メール	@		

注 太枠内の必要事項を楷書で記入すること。※欄は記入しないこと。

※受付日	※書類の不備	※更新認定証番号・発行日

切り取り線



## 組織適合性技術者認定制度委員会・部会名簿 (2007)

組織適合性技術者認定制度委員会

委員 長： 佐田 正晴

副委員 長： 小林 賢

委員： 赤座 達也, 石川 善英, 猪子 英俊, 太田 正穂, 木村 彰方, 酒巻 建夫, 佐治 博夫,  
田中 秀則, 中島 文明, 成瀬 妙子, 西村 泰治, 徳永 勝士資格審査部会

部 会 長： 小林 賢

副部会長： 田中 秀則

部 員： 柏瀬 貢一, 中島 文明, 成瀬 妙子

教育部会

部 会 長： 西村 泰治

副部会長： 成瀬 妙子

部 員： 太田 正穂, 小河原 悟, 木村 彰方, 小林 賢, 酒巻 建夫, 佐治 博夫, 佐田 正晴,  
徳永 勝士, 中島 文明, 平山 謙二, 丸屋 悦子試験問題検討部会

部 会 長： 太田 正穂

副部会長： 石川 善英

部 員： 石谷 昭子, 大橋 順, 小河原 悟, 柏瀬 貢一, 木村 彰方, 小林 賢, 高原 史郎,  
田中 秀則, 徳永 勝士, 中島 文明, 西村 泰治, 平山 謙二, 丸屋 悦子, 屋部 登志雄QC ワークショップ部会

部 会 長： 木村 彰方

副 部 会 長： 成瀬 妙子

DNA 部 門 長： 酒巻 建夫

DNA 副部門長： 安波 道郎

抗 体 部 門 長： 赤座 達也

抗 体 副 部 門 長： 中島 文明

部 員： 太田 正穂, 柏瀬 貢一, 小林 賢, 斉藤 敏, 田中 秀則, 佐田 正晴, 丸屋 悦子

## 第5回組織適合性学会近畿地方会案内および演題募集

秋冷の候、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。臨床とHLA学の実りのある融合を目指して発足した日本組織適合性学会近畿地方会も、今回で5回目を迎えることとなりました。つきましては、以下の要項で演題の募集を致しますので、奮ってのご応募をお待ちしております。

日 時： 平成19年2月3日(土)  
場 所： 参天製薬株式会社本社(別紙参照) 阪急千里線下新庄下車  
大阪市東淀川区下新庄3-9-19 TEL 06-6321-7000  
(学会のお問い合わせ先 0798-45-6348 兵庫医大輸血部)  
会 費： 正会員 2000円  
学 生 1000円  
世話人 3000円 全て懇親会費も含まれます。  
演題〆切： 一般演題募集、平成18年11月10日～12月20日  
(抄録プリントアウトおよび電子ファイル)

抄録〆切： 平成19年1月10日

抄録はA4用紙1枚に、添付の様式(抄録作成要領)を参考にご作成ください。

字体はMS明朝 サイズは12ポイント

図表がある場合は別途A4用紙1枚に添付して下さい。

### 抄録プリントアウト送付先

〒663-8501 西宮市武庫川町1-1

第5回日本組織適合性学会近畿地方会 当番世話人

兵庫医科大学輸血部 甲斐 俊朗 宛

TEL 0798-45-6348

送付して頂いた抄録は直接抄録集の印刷にまわしますのでプリントアウトした綺麗なものを郵送頂ければと存じます。また、確認のため作成された抄録を電子ファイルで送付して頂ければと存じます。

### 抄録電子ファイル送信先

『第5回日本組織適合性学会近畿地方会演題』という件名で、kai@hyo-med.ac.jp まで送付ください。

発表形式：原則的にはWindows Power Point (2000またはXPで動作するよう作成ください。やむを得ない場合にはMacのPower Pointでも可能ですが当日パソコン、アダプターを持参ください)で作成していただき、平成19年1月27日(土)までに上記のメールアドレス宛にご送付ください。

発表時間：討論を含めて10分程度を目安として下さい。

なお、第5回日本組織適合性学会・近畿地方会の一般演題以外のプログラムは、下記の通りですのでお知らせ致します。

9時30分受付開始

10時～11時 オープニングセミナー

1)『HLA-Fの膠原病、移植への応用に向けて』

石谷 昭子 (奈良県立医科大学法医学教室)

2) 『HLA 抗体と造血幹細胞移植』

丸屋 悦子 (NPO 法人 HLA 研究所)

3) 『好中球, 単球, T/B リンパ球, 血小板を対象とした免疫蛍光抗体法 (5-cell lineage IFT) を用いた白血球抗体の検出』

松山 宣樹 (大阪府赤十字血液センター)

11 時～12 時 一般演題 (1)

12 時～13 時 昼食・世話人会

13 時～13 時 15 分 総会

13 時 15 分～14 時 15 分 一般演題 (2)

14 時 20 分～16 時 40 分

シンポジウム『HLA 不適合造血幹細胞移植』

——HLA 適合血縁 / 非血縁ドナーがない場合の選択——

座長: 椿 和央, 佐治 博夫

1) HLA 不一致非血縁者間骨髓移植——JMDP での成績から——

一戸 辰夫 (京都大学 血液・腫瘍内科)

2) IPA/NIMA 移植の利点と課題

島崎 千尋 (京都府立医科大学 血液内科)

魚嶋 伸彦 (松下記念病院血液科)

3) T 細胞非除去 HLA2-3 抗原不適合移植

小川 啓恭 (兵庫医科大学 血液内科)

4) HLA 非適合非血縁者間臍帯血移植

長村登紀子 (東京大学医科学研究所 セルプロセッシング・輸血部)

5) HLA 抗体と臍帯血移植

荒木 延夫 (兵庫県赤十字血液センター)

16 時 50 分～17 時 50 分

特別講演 『NK 細胞と造血幹細胞移植』

田中淳司 (北海道大学血液内科)

座長: 甲斐 俊朗

18 時～ 懇親会

以上

## 訂 正

MHC vol. 13 No. 2, 2006 の表紙および Contents に誤植がありましたので，以下のように訂正致します。関係各位にご迷惑をおかけしましたことをお詫びします。(MHC 編集委員会)

認定組織適合性指導者および認定 HLA 検査記述者認定証の更新について (誤)

認定組織適合性指導者および認定 HLA 検査技術者認定証の更新について (正)

以上

第 143 回日本獣医学会学術集会  
第 3 回動物 MHC シンポジウム

主要組織適合抗原と疾患解析の最前線

——臨床応用への展望——

日 時: 2007 年 4 月 5 日(木) 9:00~12:00  
場 所: つくばカピオホール 4 階中会議室 406 号(第 8 会場)  
〒305-0032 茨城県つくば市竹園 1-10-1  
主 催: 動物 MHC 研究会  
共 催: 日本獣医学会微生物分科会

ヒトの組織適合性遺伝子複合体 (MHC) 領域は非常に多型性に富み、遺伝子密度も高く、疾患感受性遺伝子が集中的にマップされていることから、疾患の責任遺伝子の同定が進展している。また、ヒトでは、MHC・ペプチド相互作用の法則性が生化学的に解析され、自己免疫疾患におけるアロタイプ特異的な親和性を示すペプチドモチーフの同定などによる疾患発症機構の解明も進展している。

一方、家畜の MHC 領域は、MHC 遺伝子の他に、成長、泌乳量、繁殖性などの経済有用形質や乳房炎、牛白血病、マレック病などの抗病性に関与する遺伝子が多数マップされるという興味ある特徴を示すが、これらの形質や疾患の責任遺伝子の同定には至っていない他、疾患に関連した MHC・ペプチド相互作用の解析などもほとんど行われていない。最近、家畜のゲノム配列解読が進展し、経済形質や疾患の責任遺伝子を同定するためのゲノム配列情報が整いつつあり、動物種によっては、ヒトと同様のアプローチによる疾患責任遺伝子同定に向けた解析が開始されている。

本シンポジウムでは、愛玩動物および家畜の MHC における免疫応答性や疾患解析についての最新の情報を提供するとともに、ヒト MHC と疾患解析に関連した新戦略を紹介し、それらの情報を獣医学分野の疾病制御へと役立てるための方向性と臨床応用への展望を示したい。

9:00~10:20 座長 小野寺 節(東京大学), 中西 照幸(日本大学)

1. 動物 MHC 研究会からのお知らせ(理化学研究所 間 陽子)
2. ヒト MHC 拘束性癌抗原ペプチドを用いた癌免疫療法(熊本大学 西村 泰治)
3. ブタの MHC 及び免疫関連遺伝子の多型と肺炎等の日和見感染症との関連性の解析  
(農業生物資源研究所 上西 博英・東海大学 安藤 麻子)

10:20~11:50 座長 小沼 操(北海道大学), 辻本 元(東京大学)

4. ニワトリ MHC とマレック病(東海大学 椎名 隆)
5. 白血病および乳房炎感受性とウシ MHC の遺伝的多様性(理化学研究所 間 陽子・竹嶋伸之輔)
6. 家猫 MHC 領域の SNP 及びマイクロサテライトタイピング——猫エイズ及び猫白血病ウイルスに対する感受性への応用—— (米国 国立癌研究所 柚木 直也)

(問い合わせ先: 理化学研究所 間 陽子 電話 048-462-4420, mail-address, aida@riken.jp)